

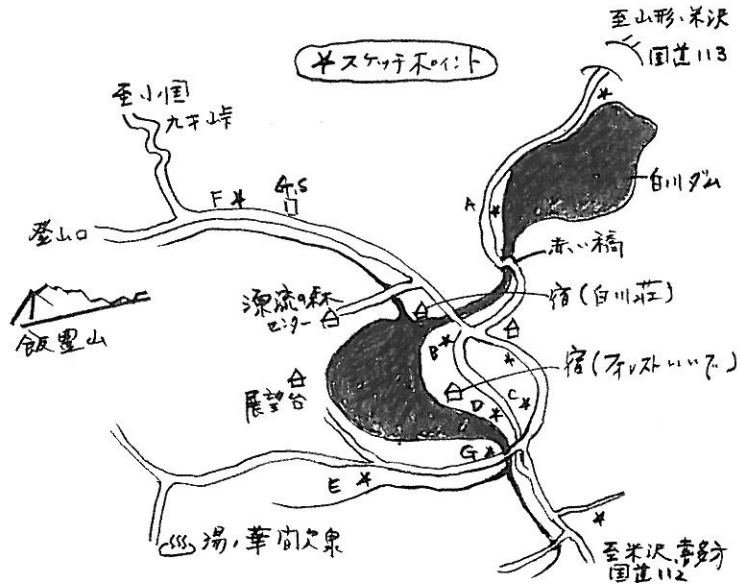
飯豊山スケッチの

ご案内

千葉 渡辺 良一

飯豊山は島海山に次ぐ山形県内第二の高山です。修験の山として、大いに栄えた地名にも御秘所や御前坂といった神域を示す言葉が残っております。飯豊山は山形、新潟、福島境界にあつて不思議なことに尾根、山頂は細長く福島県の県域に入っております。しかしながら置賜地方では豊作を祈願したりあるいは成人の儀式として飯豊山に登拝する信仰が盛んでした。数え十三、十五才の男子が飯豊山に登拝し、ようやく一人前として認められる風習が大正の頃まで残っておりました。昔修験者が登拝を行うためには一週間前から行屋といわれる建物にこもり、この間魚、ネギ、肉、などの臭い食事が禁じられ、飯、汁、おかずの一汁一菜で食後は「キリミガキ」といって茶碗にお湯を注ぎ指やヘラで拭いて糊をおとしたお湯を一滴も残さず飲み干すのが決まりでした。(地元の資料引用)。

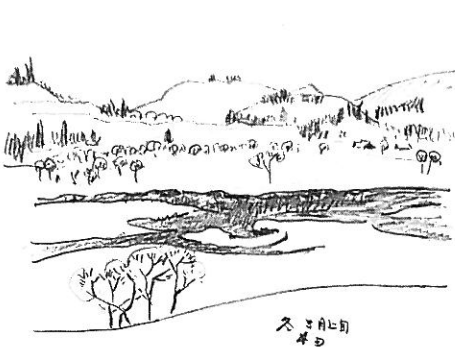
飯豊山にまつわる話はこのぐらいいしして早速スケッチポイントを紹介いたします。



スケッチの季節とポイント

源流の森、白川ダム湖畔の中津川地域に、景観大賞をいただき、この風景は、長い年月をかけて、地域の方々の汗の結晶で守り育てられ創られたものだそうです。そして、美しい風景には理由があったのです。

- ① 風景を眺める場所がきちんと整備されています。
 - ② 変化に富んだ水面があります。
 - ③ 迫力ある飯豊山連峰がちょうど見やすい位置関係にあります。
 - ④ 自然と施設が調和しています。
- 確かに、景観大賞の価値ある風景で、白川ダム湖どこに立っても、飯豊山が



四季おりおり、いろいろな表情を見せ
てくれます。天候、時間帯によっても
違った景色になりますから、絵を描く
人たちにとっては魅力いっぱいのところ
といえます。

*** 冬三月上旬 ★マーク**
割合とおちついた気象の三月上旬湖畔
の周り、どこを取っても絵になります。
晴れた日は目が痛くなるような輝いた景
色です。曇りであっても統一された色調、
点在する家、杉木立がアクセントになり
描きやすい風景です。

*** 春四月～六月上旬 ★マーク**
四月中旬湖畔の周り残雪があり、芽吹
きがあり、中腹の山、芽吹き前の密集し



た木々アクセントの杉木立、湖に写す影、
遠方の雪山、すばらしくいつまでも眺め
ていたい季節です。五月湖畔の周りの新
緑、中腹の新芽、残雪輝く飯豊山、湖に
おとす影これまたすばらしい風景です。
六月飯豊の残雪と新緑を描く人には良
いと思えますが緑の変化がむずかしいで
す。

*** 秋十月中旬～十一月上旬**
十月紅葉真っ盛りまさに燃える秋で
す。ダム湖の周り、曇りで飯豊山見えな
くとも魅力あるところです。

十一月 冠雪の山、葉の落ちた木々、
湖畔の周りの柳の葉と杉木立がアクセソ
トになり寒さを忘れさせるほどの魅力あ



る時期でもあります。
スケッチの宿とアクセス

***宿**
米沢駅から送迎してくれる宿が二件あ
る「白川荘」、「フォレストいいで」

交通の案内

- 車** : 東京—東北自動車道—R-13-R-113—白川ダム (宿) 4時間 30分
- 電車** : 東京—山形新幹線—米沢—送迎バス—白川ダム (宿) 3時間
- 車** : 仙台—山形自動車道—R-286-R-348-R-113—白川ダム (宿) 2時間 30分
- 電車** : 仙台—山形—米沢—送迎バス—白川ダム (宿) 2時間 45分
- 車** : 新潟—R-7-R-113—白川ダム (宿) 2時間 15分
- 電車** : 新潟—坂町—米沢—白川ダム (宿) 4時間 35分

